

木祖村議会だより

# 道しる



地方税の減収と  
物件費・補助金の縮減等による

## 緊縮型予算

令和3年4月22日

No 172

令和3年4月6日 木祖村立木祖小学校 入学式

# 新型コロナウイルス感染症対策で 飲食業・宿泊業支援、ワクチン接種 体制整備予算

39,924千円を増額し、総額を3,844,813千円とする補正予算。議案2件（変更請負契約の締結1件、補正予算1件）について慎重審議され原案通り可決し、同日散会しました。

## 提出議案概要

### 議案第1号 建設工事変更請負契約の締結について

- ・令和2年度 村道管線法面改良工事の面積等増工  
請負業者：木曾土建工業株式会社 増工金額 金2,046千円  
変更前契約金額 84,260千円  
変更後契約金額 86,306千円

### 議案第2号 令和2年度木祖村一般会計補正予算（第9号）

#### 補正予算の内容は以下のとおり

- ＜歳入＞
  - ・国庫支出金 新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種負担金 455千円
  - ・ワクチン接種体制確保事業補助金 8,237千円
  - ・繰入金 同上 財政調整基金繰入金 31,232千円
- ＜歳出＞
  - ・保健事業費 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制整備事業 8,692千円
  - ・道路維持費 村道冬期管理費 31,232千円

## ◎新型コロナウイルスワクチン接種について

### 1) ワクチンの特性（ファイザー社）

- ・接種回数：2回（接種間隔21日）
- ・保存温度：-75℃ ±15℃ 冷蔵庫内に1台配備
- ・最小流通単位：195バイアル（975回接種分）
- ・1バイアルの単位：5回接種分
- ・開封後の保存条件：希釈必要 希釈後温室で6時間
- ・保管方法：超低温冷蔵庫で2ヶ月程度保管可能、ドライアイス保管は10日が限度

### 2) ワクチン接種順位

①医療従事者→②高齢者→③基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者→④その他一般「当面16歳以上の者を対象とし、16歳未満については治験等の結果を見て今後検討予定」

### 3) スケジュール（当時）

- ・3月から医療従事者の優先接種開始（主体：県）→木曾郡では木曾病院で接種できるよう、木曾保健所が調整中（木曾郡内で約1,000人対象）
- ・3月末から高齢者の優先接種開始（主体：市町村）

### 4) 全国の接種体制について

- ・原則として住民票所在地にて接種
- ・全国医師会と、市町村の委任を受けた全国知事会で集合契約を結ぶため、住民票所在地外の医療機関でも接種は可能。住民票所在地から発送されるクーポン券を持参し接種を受ける。

## ◎木祖村飲食店等感染対策支援事業について（既決予算の組替）

**内容** 「新しい生活様式」に適應するため、木祖村内の飲食業ならびに宿泊業経営者が感染防止対策を講じた経費の一部を補助する。来店者から「感染症対策ができています」という良いイメージを持ってもらえる木祖村であり続けるよう事業者一丸となった取り組みを目指す。

**事業費** ・3,000千円（30万円×10事業者）

**対象者** ・木祖村内の飲食店、旅館民宿等の経営事業者。ただし、国の補助金や支援金等を活用した同じ内容の二重申請は補助対象外となる。

・補助対象経費と補助率は、事業費の3/4以内とし上限30万円（12月1日以降に対策した経費も対象で、申請は令和3年3月10日まで）。

## 新型コロナウイルス感染症対策として 第4弾の補正予算を組む

55,686千円を増額し、総額を3,900,499千円とする補正予算。議案1件（補正予算1件）について慎重審議され原案通り可決し、同日散会しました。

### 提出議案概要

議案第3号 令和2年度木祖村一般会計補正予算（第10号）補正予算の内容は以下のとおり

<歳入>・国庫支出金  ・県支出金 ・繰入金 <歳出>・財産管理費 ・企画費 ・児童福祉総務費 ・児童福祉施設費  ・保健衛生総務費 ・保健事業費 ・商工費 ・小学校費 ・中学校費 ・公民館費 ・保健体育費 ・学校給食費 ・基金費	子ども、子育て支援交付金251千円・保育対策総合事業費補助金250千円・地方創生臨時交付金50,502千円・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金2,473千円・感染症対策等の学校教育活動継続支援事業補助金800千円 子ども、子育て支援交付金251千円・地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金2,241千円 財政調整基金繰入金 △627千円 役場庁舎感染予防衛生物品 367千円 笑ん館感染予防衛生物品 101千円 児童クラブ感染予防衛生物品 94千円 保育所感染予防衛生物品888千円・子育て支援センター感染予防衛生物品110千円・空気清浄機他備品購入費552千円 保健センター感染防止マット146千円・絨毯設置工事627千円 保健事業感染予防衛生物品182千円・新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業2,021千円 商工振興活性化補助金（プレミアム商品券事業補助金）21,950千円・事業者支援事業補助金6,000千円 小学校感染予防衛生物品等541千円・プロジェクター等備品購入費333千円・デジタル教科書872千円 中学校感染予防衛生物品等844千円・プロジェクター購入費233千円・デジタル教科書1,213千円 村民センター感染予防衛生物品 168千円 社会体育館等感染予防衛生物品 272千円 給食センター感染予防衛生物品等 172千円 中小企業等融資借入特利利子補給基金積立金 18,000千円
--	---

## 令和3年2月19日(金) 常任委員会連合審査

議案第3号 令和2年度木祖村一般会計補正予算（第10号）

### 厚生文教委員会

**問** 衛生物品の購入及び発注事業者の詳細はどのようになっているのか。

**答** アルコールやペーパー類をまとめて発注、村内業者を優先し、役場等公共施設へ設置をする。

**問** 医療系の購入物品については、公平に村内業者を利用してほしい。

**答** できる限り村内業者に発注する予定である。

**問** 購入衛生物品の量はどの程度か。

**答** 約1年分を購入する。

**問** 事業所等に設置した衛生物品等の状況を確認し効果について検証をされたのか。

**答** 写真確認及び現地確認を行っている。

**問** 空気清浄機の設置予定についてどのようになっているのか。

**答** 子育て支援センター以外は予定していない。

**問** コロナに関する村民向けマニュアルの作成はどのようになっているのか。

**答** 村民にお知らせする事項については、全戸配布等により村民及び事業者へ周知する予定である。

### 産業経済委員会

**問** 利子補給活用事業の業種はどのような種類なのか。

**答** 主に商工会員で木工業者、電気業者、サービス業等の事業者である。

**問** 商品券の宿泊業者への効果はどのような状況であったか。

**答** 宿泊業の活用は少ない状況である。

**問** プレミアム商品券の来年度の実施はどうなる。

**答** 令和3年度は実施せずに今回前倒しで実施する。

**問** 全村民へ商品券を配布する事業の検討はしなかったのか。

**答** 検討したが、回収率が悪いので、回収率の高いプレミアム商品券にした。





## 令和3年度木祖村一般会計当初予算

総額29億6502万円

前年比1億8089万円の減額 (△5.7%)

議案18件（人事案件1件、条例制定1件、条例改正3件、条例廃止1件、木曾広域連合関係1件、辺地計画1件、補正予算5件、当初予算5件）について慎重審議され原案通り可決し、3月19日(金)に散会しました。

### 令和3年度村のお金の使い道（一般会計目的別予算概要）

福祉施設など建築工事、社会体育館修繕工事の終了と地域おこし協力隊事業、環境衛生費、中山間総合整備事業費等の縮小に伴い減額予算となった。簡易水道事業会計は、新敷原浄水場建設工事により収益的収支および資本的収支ともに大幅な増加となっている。下水道事業会計は、奥峰浄化センター統合費用により収益的支出の増加があるが、ほぼ例年通りの予算額となっている。

### 提出議案概要

- 議案第4号 木祖村固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて
- 議案第5号 木祖村福祉施設設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案第6号 木祖村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第7号 木祖村高齢者自立支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第8号 木祖村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第9号 大蔦屋設置及び管理に関する条例の廃止について
- 議案第10号 木曾広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄について
- 議案第11号 辺地総合整備計画の変更について
- 議案第12号 令和2年度木祖村一般会計補正予算（第11号）
- 議案第13号 令和2年度木祖村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）
- 議案第14号 令和2年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計補正予算（第3号）
- 議案第15号 令和2年度木祖村簡易水道事業会計補正予算（第3号）
- 議案第16号 令和2年度木祖村下水道事業会計補正予算（第3号）
- 議案第17号 令和3年度木祖村一般会計予算
- 議案第18号 令和3年度木祖村国民健康保険特別会計予算
- 議案第19号 令和3年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計予算
- 議案第20号 令和3年度木祖村簡易水道事業会計予算
- 議案第21号 令和3年度木祖村下水道事業会計予算

### 《人事案件》

木祖村固定資産評価審査委員会委員に1名選任 令和3年3月会議にて同意した。

任期：令和3年4月1日から3年間

木祖村大字小木曾 東 幸男氏

令和3年度

# 当初予算

地方税等の減収を踏まえ、物件費・補助金の縮減等による緊縮型予算

## 総務費

5億8314万円  
(△2691万円)

- 庁舎・保健センターエアコン設置
- 移住定住促進事業
- 地域振興バス運行事業他

## 民生費

5億4728万円  
(△1億5788万円)

- 社会福祉協議会への交付金
- 広域連合負担金  
(木曾寮建設事業他)
- 幸せテラスまめのわ管理費他

## 衛生費

1億5651万円  
(156万円増)

- 新型コロナウイルス感染症対策事業
- 広域連合負担金
- 簡易水道事業会計への繰出金他

## 農林水産業費

1億9077万円  
(△3943万円)

- 林道維持管理費
- はくさい新規就農者支援
- 下水道事業会計への繰出金
- 公有林整備事業他

## 商工費

1億6524万円  
(2692万円増)

- コロナ対応事業者向け施設整備補助事業
- コロナ対応事業者応援給付金事業
- 観光協会交付金他

## 土木費

5億2916万円  
(9836万円増)

- 菅川橋・桁の木橋橋梁長寿命化事業
- 村道(奥峰1号線・鳥居峠線)改良工事
- 下水道事業会計への繰出金他

## 消防費

1億2600万円  
(△1144万円)

- 第2分団消防ポンプ車購入
- 広域連合消防負担金
- 防災行政無線・音声告知端末連携工事他

## 教育費

1億9562万円  
(△6111万円)

- 小学校エアコン設置
- 小中学校教室等LED化
- 公民館運営費他

## 公債費

3億3670万円  
(△1330万円)

- こだまの森グラウンド造成工事などの償還終了などにより減少

※( )内の数字は前年比。△は減額。

令和3年3月19日(金) 会議

追加日程第19 木曾広域連合議会議員の選挙

追加日程第20 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員の選挙

## 木祖村議会委員会等構成一覧表

各常任委員会の構成 ◎委員長 ○副委員長 令和3年3月19日(金)～

- ▶(議長)古畑節行 ▶(副議長)深澤衿子
- ▶厚生文教委員会委員 … ◎青木 功・○鈴木正弘・安原千佳世・田中寛幸・大久保繁子・深澤衿子
- ▶産業経済委員会委員 … ◎田上芳朗・○栗屋正一・安原千佳世・田中寛幸・大久保繁子・深澤衿子
- ▶議会運営委員会委員 … ◎栗屋正一・○鈴木正弘・青木 功・田上芳朗
- ▶木曾広域連合議会議員 … 古畑節行・青木 功・田上芳朗
- ▶松塩筑木曾老人福祉施設組合議会議員 … 田中寛幸
- ▶木祖村監査委員 … 安原千佳世
- ▶議会報編集委員会委員 … ◎鈴木正弘・安原千佳世・田中寛幸・大久保繁子
- ▶表彰審査委員会委員 … 古畑節行・深澤衿子・青木 功・鈴木正弘・安原千佳世・田中寛幸・大久保繁子
- ▶木祖村消防委員会委員 … 青木 功・栗屋正一・田中寛幸
- ▶木祖村上下水道協議会委員 … 古畑節行・深澤衿子・青木 功・田上芳朗
- ▶国民健康保険運営協議会委員 … 鈴木正弘・大久保繁子
- ▶木祖村社会福祉協議会理事 … 深澤衿子
- ▶木祖村観光開発審議会委員 … 栗屋正一・安原千佳世
- ▶木祖村地籍調査実施委員会委員 … 大久保繁子
- ▶木祖村議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 … (幹事)古畑節行・(委員)全議員
- ▶人権擁護審議会委員 … 大久保繁子 ▶道の駅運営協議会 … 田上芳朗・田中寛幸 ▶保育所運営委員会 … 深澤衿子

令和3年3月12日(金)

# 常任委員会連合審査

## ▼ (厚生文教委員会) 総務課・住民福祉課・教育委員会

### 議案第5号 木祖村福祉施設設置及び管理に関する条例の制定について

**問** 福祉施設フィットネスルームの使用方法はどのようになるのか。

**答** 使用方法や安全上の取り決めを行い、講習を受講した方が使用できる仕組みを検討する。

**問** 使用料金の回数券導入等、検討はしているのか。

**答** 検討課題として考えている。

**問** 年間パスポートの導入等の考えはあるのか。

**答** 体育施設使用料の規則を準用し、18歳未満はフィットネスルームに限り無料とするため、年間パスポートの導入は考えていない。

**問** 団体の申し込みの場合はどのようになるのか。

**答** 購入予定としている運動機械導入後に募集を行う予定である。

**問** 利用者を限定せず、誰でも活用できるのか。

**答** コミュニティスペース等は、誰でも利用可能で待合にも利用が可能である。

**問** 予約の必要な部屋は、どの部屋なのか。

**答** 「いきがいづくり室・フィットネスルーム・高齢者支援室」になっている。

**問** 営利を目的とした利用等の判断方法はどのようにするのか。

**答** 事前申込の際に判断をすることとしている。

### 議案第7号 木祖村高齢者自立支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 自立支援住宅の利用対象者はどのような方なのか。

**答** 今までは高齢者限定であったが、要支援者に改めた。

**問** 現在の支援住宅利用状況は、どのような現状なのか。

**答** 昨年は1名利用者があったが、今のところ利用者は無い。



### 議案第11号 辺地総合整備計画の変更について

**問** 辺地度点数の積算根拠は、どのような規定になっているのか。

**答** 辺地から役場までの距離、駅までの距離、医療機関までの距離等を点数で積算し、辺地度点数が100点以上で辺地の対象としている。

### 議案第12号 令和2年度木祖村一般会計補正予算(第11号)

**問** 衛生費の減額はどのような内容なのか。

**答** 検診等の実績の数値によるものである。

**問** 障がい者地域生活支援事業の実績はどのようなものなのか。

**答** 訪問入浴2名、ストマ8名、おむつ3名、その他用具5名、意思疎通支援1名、移動支援3名、日中一時支援9名、タイムケア1名、生活サポート2名、作業所通所支援11名である。

**意見** 障がい者や高齢者を含めた足の確保で困ってい

る方に対して、生きがいをもって生活ができる足の確保を考える場を作ることを検討していただきたい。

**問** 結婚支援補助金対象の実績はどの程度なのか。

**答** 4組の実績であった。

**問** 中学校教育振興費の任用職員報酬の減額の理由はなにか。

**答** 会計年度任用職員制度が新規の運用見込みで計上したが、実績で減額となった。また学校給食費についても同様の理由で減額となった。

### 議案第17号 令和3年度木祖村一般会計予算

**問** 定住促進奨励金制度の条例制定の根拠とペナルティーとはどういうことか。

**答** より多くの定住を促進するための制度設計とし、ペナルティーについては要綱に定めた範囲としている。

**問** 返礼品のとうもろこし供給不足の状況をどうするのか。

**答** 前年並みの本数を見込んでいます。本数を制限しながら対応していく。

**意見** ふるさと納税については、村外から役場へ通っ

ている方や、村出身者へのPRを積極的に行っていたいただきたい。

**問** 空き家対策推進事業の内容とは。

**答** 空き家を村営住宅化するための改修等を行う事業である。

**問** 議員共済はどうなっているのか。

**答** 平成23年6月1日で制度廃止、経過措置として給付に要する費用の財源は、関係法令に基づき毎年度



各地方公共団体が公費で負担をし、当面は費用の負担を行うこととしている。

**問** 村税の滞納繰越分の内容を聞きたい。

**答** 新型コロナウイルスの影響で収入が減少している法人の徴収猶予で、2社の法人住民税である。

**問** 行政手続整備支援事業委託料の内容はこの業者なのか。

**答** 押印の廃止や行政のデジタル化の対応のため、行政手続法にのっとって審査基準を明確にしていくために必要となる支援で、見積業者は「株式会社ぎょうせい」である。

**問** 庁舎の電気契約会社はどこなのか。

**答** 毎年契約の見直しを行っており高圧電源についてはエネットである。

**問** 旧カワベ跡地の契約の継続はどのようになっているのか。

**答** 状況を精査し検討をしていく。

**問** ダンボールコンポストを活用した環境学習をした方がよいと思うが。

**答** 生ごみに対する意識改革が必要であり、環境学習の一環として子どもへ配布し、家庭へ持ち帰って使用してもらうことで、生ごみ削減意識の向上を目的に実施したい。

**問** エコポイント事業の実施についてはどのようになるか。

**答** 生ごみ袋1袋200円購入で1ポイントが付くエコポイント事業を実施し、ポイントと指定ゴミ袋を交換できる仕組みで普及啓発を図りたい。

**意見** 特定の生ごみの回収する日を定めてはどうか。

**意見** まずは、大きな事業所から生ごみの削減に努めていただくよう周知をお願いしたい。

**問** リモートワークオフィス事業はいつからなのか。

**答** 4月以降に募集を始める予定であるが、コロナの感染状況によっては需要に影響しそうであるため、状況を見ながら実施する。

**問** マイナンバーカード普及活動用タブレット購入はどうしてなのか。

**答** 普及活動用のために1台購入するもので、専用端末のため高額となっている。

**問** 村有地不動産鑑定委託料の内容とは。

**答** 村有地について適正な価格評価を行い、売却を進めるために実施するものである。

**問** 信州まつもと空港利用促進協議会への加入によるメリットとは。

**答** P R用チラシ等の配布をして利用促進につなげる

ためである。

**問** きそむらチャンネル番組制作委託料の内容は。

**答** アイモへの委託料281万円で、保育園小中学校を含む村の行事番組の制作である。

**問** 文化財等資料の管理はどうか。

**答** 郷土館に展示してあるものは、虫よけ等の対応は管理人が行っている。今後も適確な管理体制に努めていきたい。

**意見** 理事者も展示物を見てもらい、しっかり調査する時期が来ていると感じる。今後の対応と方向性を考える必要があると思われる。

**問** スクールバスの借上料が増えて、委託料が減った理由はなぜか。

**答** おんたけ交通と協議の結果、運行形態及び費用等を見直したことで増減が生じたためである。

**問** 補助金一律カットの団体への周知はどうなっているのか。

**答** 各団体へは事前に相談及び周知をしている。

**問** 小中学校パソコンリース料の使用はどの範囲なのか。

**答** 今回、児童生徒が使うパソコンを購入し、今までの子どものパソコンリースが終わる。計上したものは、先生の使うパソコンリース分となっている。

**問** 部活動指導員補助金の人数の件は何人か。

**答** 1町村3名上限で県の補助を受けることができるが、それ以外は全て村負担となる。

**意見** 今後は総合型地域スポーツクラブの立ち上げに向けて、指導者を育成してほしい。

**問** 源流夏祭りをどのように捉えるのか。

**答** 花火のみを打ち上げる計画をしている。状況を見ながら開催についても検討したい。

**意見** 木曾ペインティングスの活動について、住民へしっかり周知をしていただきたい。

**問** 消防団長靴の購入理由はどうしてなのか。

**答** 近年、水防活動が増えていることから予算計上をした。

**問** 広域連合負担金（埋蔵文化財分）とはどういう事なのか。

**答** 採用する職員の人件費に関する負担金である。

**問** 庁内エアコン設置業者等はどの範囲としての業者なのか。

**答** 村内業者で入札を考えている。

**問** 庁内エアコンはどこへ設置されるのか。

**答** 令和3年度はAフロアとBフロアを予定しており、令和4年度以降は2階を予定している。

**問** 健康福祉のつどい事業の実施はどうか。

**答** 令和3年度は新規事業を取り入れるため、実施はしないこととした。

## 議案第18号 令和3年度木祖村国民健康保険特別会計予算

**問** 基金を取り崩しての予算であるがその理由は。

**答** 現在のペースで基金を切り崩していくと、数年で底をついてしまうが、県が示す保険料統一のロードマップでは、令和9年度までに圏域毎に統一する方針が示されており、それまで基金を取り崩しながら持ちこたえたいと思う。

**問** 基金の目安はどの程度なのか。

**答** 保険給付費の5%が目安となっている。

令和3年3月15日(月)

# 常任委員会連合審査

## ▼ (産業経済委員会) 産業振興課・建設水道課

### 議案第9号 大蔦屋設置及び管理に関する条例の廃止について

**問** 今後、大蔦屋をどうしていくのか。また、所有者との調整はどうなるのか。

**答** 相続等の関係で村が管理していくことは難しいと考えている。

**問** 大蔦屋プロジェクトへの投資額はどの程度あったのか。

**答** 水道凍結の際に若干の修理費を支払っただけである。



### 議案第12号 令和2年度木祖村一般会計補正予算(第11号)

**問** 見山急傾斜地工事の仮設道路の道はどのようになるのか。

**答** 工事終了後は、現況に復元される。

**意見** 見山急傾斜地工事の景観について、コンクリートむき出しではなく景観上の配慮を検討してほしい。

### 議案第17号 令和3年度木祖村一般会計予算

**問** プレミアム商品券の実績はどうであったか。

**答** 420世帯で約4割が購入、80業者中65業者81.3%で、売上は小売業が一番多く事業者として使われたのは14,000千円であった。

**問** 道の駅の売り上げはどの程度なのか。

**答** 2月末現在、店舗のみで前年比101.6%で、加工センターは550万円の売上があり、8月の売り上げが一番多かった。

**問** 地域おこし協力隊の農業振興業務の募集方法をどのように行うのか。

**答** 農業だけでなく販売・加工も含めての募集としている。令和3年度からのお試しで、地域協力活動を体験できるインターン制度の活用を検討している。

**問** 中山間地域総合整備事業の菅鳥獣事業の進捗状況はどうなのか。

**答** 費用対効果の面で中山間地域総合整備事業での実施は難しいとの結論に至ったので、他の事業による実施を検討し、住民説明も早急に行いたい。

**問** 自転車ロードレース開催にあたり道路の整備を行

う必要があると思うがどうか。

**答** 早急にダムの左岸側道路を開通させたいが、現在も落石がある状況のため、森林管理署とも調整し開催及び道路開通について慎重に検討していく。

**問** 「木祖村の魅力創造・発信のためのプロジェクト企画」の予算は20万円で足りるのか。

**答** 集まった方々が何をやりたいかというところから入るには、高額だと1回のイベント等で終了してしまうことが予想される。一から自分たちで考えてほしいとの思いから少額とした。

**問** あやめ公園池周辺の歩道整備は可能か。

**答** アンケート調査の結果、栈橋は1億2千万円分の事業が可能であったが、歩道整備は補助対象とならない。

**問** 融雪剤散布の地区別状況はどうなのか。

**答** 稼働時間を見ると菅・小木曾での散布が多いと考えられる。散布には多くの費用もかかり県道や国道のような体制は難しい。

### 議案第20号 令和3年度木祖村簡易水道事業会計予算

**問** 藪原水道の濁りの対応は今のようになっているのか。

**答** 原水処理が原因の濁りはない。一部高区が濁ってしまう原因は、塩沢の水に鉄マンガンが含まれているため、塩素と反応して管路で濁りが生じる可能性がある。建設予定の新浄水場は膜ろ過で除去するので原水の浄水問題は解消される。



令和3年3月11日(木)

一般  
質問

# 村政を問う

8 議員13件

安原千佳世 議員

- ① 昨年4月の機構改革の評価はどうか
- ② 公共施設個別施設計画の策定進捗について問う

青木 功 議員

- ① 木祖村国土強靱化地域計画への取り組み
- ② 子ども議会定例会の設置

鈴木 正弘 議員

- ① 「関係人口」の可能性を問う
- ② プレミアム商品券等の継続を問う

田上 芳朗 議員

- ① 気候非常事態宣言と再生可能エネルギー利用に対する村長の考えを問う

大久保繁子 議員

- ① 令和3年度施政方針について

深澤 衿子 議員

- ① 笑顔あふれる村づくりのための参画のあり方について

栗屋 正一 議員

- ① 木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略について

田中 寛幸 議員

- ① しらかば平の別荘地や縁結神社等の総合的な観光地としての今後の村の考え方について
- ② 藪原街中の安全対策について
- ③ コロナの影響で観光地として村民へのPCR検査の無料化、補助はできないか



安原千佳世 議員

## 昨年4月の機構改革の評価はどうか

**答** 概ねうまくいっていると評価する  
村民の評価も良いと判断する

**問** 唐澤村政として初めての機構改革を行って1年が経過する。幾つかの項目があるが、現時点での評価はどうか。①係体制の確立（複数人体制によるチェック体制の強化）②農林課と商工観光課の統合③総合案内窓口の設置と収納業務の一元化④レイアウト変更（1階フロアーへの集約）⑤村有施設の総務課の一元管理⑥保育所の教育委員会への移管

**副村長** ①職員からは係長に相談しやすくなった、書類が多くの人目の通るので安心感が増したとの評価を得ている。②コロナウイルス感染症拡大の影響を受け上下流交流事業の中止など機動力発揮の場面が減少しているが、機動力向上になっているとの判断である。一方農商工連携についてはこれから取り組むという段階である。③総合窓口については村民からは以前よりは業務がわかりやすくなった、また接遇が向上したとの評価をいただいた。収納業務一元化については徴収にかかる全庁的な取組を始めるなどプラスに作用した。④レイアウトの大きな変更は建設課を1階に移設したことであるが、ロッカーを撤去するなどしたことから非常にすっきりしてフロアー全体が見渡せるようになった。⑤これまでは補助金絡みの施設は各原課にて対応してきたため、各原課の対応がばらばらになるという面もあったが、総務課への一元化によって全体を俯瞰しながら対

応できるという効果が出ている。⑥保育所からは、役場との連携がしやすくなった、学校の対応がわかりやすくなり、就学相談もしやすいとの評価を受けている。

**問** 機構改革に併せて事務手続き、業務マニュアル等によって可視化するという内部統制の仕組みづくりを進めるとしていたが、進捗状況はどうか。

**副村長** 機構改革によって係体制を強化したことにより、内部統制の強化につながったと考える。マニュアル等も一部作成しつつあるが、役場全体ではまだまだの状況である。今後もさらに取り組んでいきたい。

## 公共施設個別施設計画の策定進捗について問う

**答** 策定作業はまだ途上であるが、進捗しつつある。

**問** 公共施設等総合管理計画は平成29年3月に策定された。それから個別施設計画の策定に取り組んでいるが、4年経過している。その進捗状況を問う。

**総務課長** 各施設の劣化状況と過去の修繕費用や今後の見込み等の取りまとめ、各課へのヒアリングを実施してきている。令和9年度までに村営住宅や消防施設の16棟を取り壊す予定である。長寿命化に取り組む中で修繕費等々の縮減に向けて鋭意取り組んでいる所である。



青木 功 議員

## 木祖村国土強靱化地域計画への取り組み

### 答 さらに加速させ総合的・計画的に進めていく

**問** 気候変動に伴う災害や地震による災害が各地で頻繁に発生している。内陸で活断層を震源とする地震は直下型地震の要因となる。木祖村の真下には境峠・神谷断層帯が走っており、この活断層は全国114ヶ所ある中でも、今後30年以内の発生確率が3%以上とする地震切迫度Sランクに入る。さらに、危険度の高さからM7.6クラスの直下型地震の発生を想定し、上位8ヶ所の中に入る活断層として警戒が呼び掛けられている。この活断層を起因とする直下型地震が発生するとしたらどのような被害が想定されるのか。

**総務課長** 自然災害に対する国土の脆弱さを見つめ直し、強靱化を図ることで、今後想定される災害から村民の生命、財産を守り木祖村の持続的な成長を実現するため、昨年12月に木祖村国土強靱化地域計画を策定した。この活断層による災害規模は、平成27年の長野県地震被害想定調査報告書からM7.6、震度7の発生の可能性が示されている。本村での被害は、死者50名、負傷者190名、建物の全半壊は1390戸と想定されている。

**問** 建物の被害は100%に近い数字と推測される。避難所となる村所有の施設の耐震、村民一般住宅の倒壊を防ぐための耐震診断、耐震改修の状況は。

**総務課長** 耐震診断、耐震改修は避難所となる公共施設では全て終了している。一般住宅については個人負担なしで精密診断ができるよう補助制度を設けており、耐震改修にも上限100万円の補助制度があるが、多額の自己負担が掛かるため進んでいない。耐震化に向けて制度周知を引き続き実施していきたい。

**問** 村民の安心、安全な生活を守り、災害に強い木祖村を作るための国土強靱化地域計画に基づいた来年度予算は。

**建設水道課長** 国土強靱化に向け災害防止対策として、橋梁点検、急傾斜地崩壊対策等、土木費を前年比22.8%増で計上した。自治会要望や昨年の7月豪雨に対しても実施すべき件に関し補正計上を含め進めていく。

**問** いつ起きるか分からないこの直下型地震を含め、あらゆる災害に対しいつ来ても大丈夫という安心な対策が施されていれば、防災意識の高揚、啓発活動も積極的に進められる。国土強靱化地域計画を進める村として、災害対策を今後どのように進めていくのか。

**総務課長** 村民一人ひとりの防災意識の高揚を図ることが重要である。安心して暮らせるよう地域防災力の向上のため、国、県、民間事業者等と連携を図りながら、これまでの取り組みをさらに加速させ総合的、計画的に推進していく。

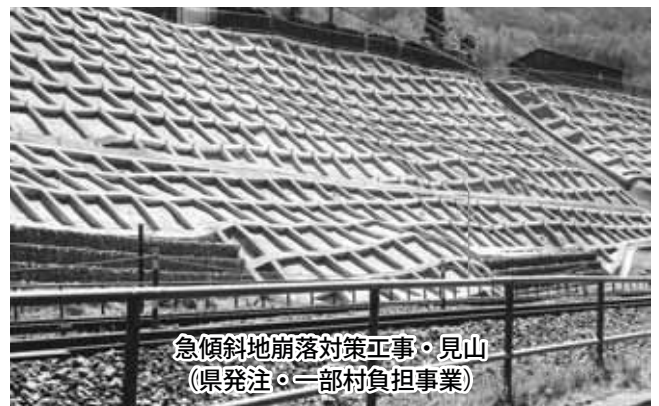
### 子ども議会定例会の設置

#### 答 定例会実施に向けて前向きに検討していく

**問** 少子化が進む中、子ども達が村外へ流出することは村として大きな危機となる。木祖村にやがては帰ってきたいと思う場所となるよう、子ども達が将来の社会に対し、意見や提言を発表する場として子ども議会があると考える。議会、行政の役割や仕組みに関心を持ち、これからの村づくりに夢を抱き、教育一般を身近なテーマとして提案してもらうことは非常に意義あることと考えるが。

**教育長** 昨年2月に行われた子ども議会の提言から、村長が取り入れ気候非常事態宣言を発した経緯がある。通常の学習活動の保証に留意する必要があるが、子どもの視点から村政についての意見を聞けることは大人にとっても大きな刺激となり、違った視点から参考となる意見も多々ある。選挙権が18歳に引き下げられ、投票の意味や政治への参加を考えるきっかけにもなり、子ども達が自らの生活向上や住みやすい村づくりへの提言、地方自治の役割を考える良い機会となる。定例会としての子ども議会の実施は前向きに検討したい。来年度は中学3年生を対象に実施を考えている。

**村長** 子ども達の発想は素晴らしいものがある。今後、このような機会を通し、子どもや若い人の意見は大いに取り上げていきたい。



急傾斜地崩落対策工事・見山  
(県発注・一部村負担事業)





鈴木正弘 議員

## 「関係人口」の可能性を問う

### 答 地域振興の一つの柱として努める

**問** 関係人口とは、「定住人口」でもなく観光に来た「交流人口」でもない地域や地域の人々と多様に関わることを言う。総務省は、地方公共団体モデルに「関係人口創出・拡大事業」として大きく取り上げている。3月議会の村長の施政方針で、この木祖村も「人口減少をできる限り食い止め、交流人口を増やすことが重要」と述べられたが、どのような思いで捉えているのか。

**村長** 村長就任以来一貫して地方創生、人口減少対策を最重要課題として村政運営に取り組んできている。「木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても重点戦略の一つと位置付け、木祖村は2060年、約2000人を残そうと国が議論する前から認識している。木曾ペインティングスの活動や、村人会もその関係人口に関連した取り組みであると考えている。特に下流域の人との心を密にした付き合いが大切である。各担当課からは新たな事業の提案もあり、今後関係人口の拡大に向けた取組を更に推進する考えである。

**問** 「木祖村で体験ができるモデル事業」を作ったかどうかと思う。いま全国的にコロナ禍で都会の人は、田舎に注目している。木祖村も「関係人口」拡大に向けて目先を変えながら大学生や他県の人々に対し、自然豊かな木祖村を接点に四季折々の体験などを安い費用で経験できる場、特に学生は体験論文が題材となれば宣伝にもなると思う。それを聞いたリピーター達に一度は体験したいと思われる木祖村体験構想など村長はどう思われるのか。

**村長** 関係人口の拡大は、上下流交流事業を中心に実施している。令和3年度は新たにアクティビティーの企画立案業務で「地域おこし協力隊員」を採用して、観光資源を活かした体験事業の展開に期待し、関係人口の拡大につなげるよう努力をしていきたいと考える。

**問** この構想ではすぐ移住・定住するとかではなく、少し長い目で見て効果が出るように「村の良さ・人間の良さ」を知って欲しい。村の願いを込めた体験等を進めてはどうか。それには予算も必要かと思う。

**村長** 木祖村が誇る地域資源の強みと魅力の発信、スキルを持った人材等の土壌づくりを進め、アフターコロナを見据えた、地域振興の一つの柱として関係人口

の拡大に努めたいと考える。

### プレミアム商品券等の継続を問う

#### 答 今後も財政の状況を見て対応をする

**問** この事業は通常7月だが、4月に前倒をした村の考えと、事業者に対しての思い等は、どのようなものか。

**産業振興課長** 国のコロナ対策第3次補正による地方創生臨時交付金を活用した事業であり、村民と事業者への影響を考え、通常の時点を前倒して景気の回復を図るものである。

**問** 昨年は1世帯10万円までの購入であったが、今回は1世帯5万円までになる。売れ残った時の対応を心配するが何か考えがあるのか。

**産業振興課長** 1世帯の上限額を10万円から5万円にすることで、できるだけ多くの方に購入してもらい消費を拡大させ、村内経済へのカンフル剤とすることを目的にしている。仮に売れ残れば商工会の窓口で販売することを考えている。

**問** 今回の「プレミアム商品券事業」は4月の1回とのことだが、この事業計画を考える段階で2度行う考えはなかったのか。

**産業振興課長** 当初の段階で、2度取り扱う考えはなかった。

**問** 事業者は、この一年余りコロナ禍で困惑し、非常に厳しい状況が続いている。この商品券は唯一の神頼みだと思う。村としては、今後も商品券の補助を継続する考えがあるのか。

**産業振興課長** 通常は、プレミアム分を村の一般財源で賄っているが、毎年の財政状況を見ながら検討している。今後も村の財政状況による。

**問** この商品券事業に寄せる村民の期待は大きいと感じ取れる。今後世の中の動向を見て「2回目の商品券事業補助」等を、年末年始ごろに考えていただけなのか。秋は実りの季節であるので、村民は何かを期待していると思われる。

是非とも柔軟に検討いただきたい。

**産業振興課長** 国のコロナ対策事業の補助があれば、再度の事業も考えられるが、現時点で実施すると申し上げられる段階にない。





田上芳朗 議員

## 気候非常事態宣言と再生可能エネルギー利用に 対する村長の考えを伺う

**答** 来年度は主に生ごみ処理で二酸化炭素を減らしていきたい

**問** 昨年3月に、気候非常事態宣言をしたが、今期完成した福祉施設は、ガス冷房、灯油床暖房であり、宣言とは相反する環境設備である。薪ストーブの設置が、竣工式までに間に合わないのが残念である。また、酸性雨についても、子ども議会で提案があった。対応する時間はあったはずだが、気候非常事態宣言をした木祖村として、再生可能エネルギーの推奨を公共施設からするべきではないか。

**村長** 建設委員会を立ち上げた当時、薪ボイラーや薪ストーブを入れると言ったら大反対されてしまった。

それが前提にあったが、時代が変わってきたので薪ストーブを入れる事になった。バイオマスはチップを作るのに大変と聞く。カラマツストーブは村民センターにあって具合がいいし、それを入れる計画にした。

**意見** 来年度予算の中で、各種補助金が減額となった。二酸化炭素削減のためには、樹木の育成等も大切である。また、財政力を確保し、未来の子どもたちに向けて、「米百俵の精神」で村政に取り組むことを強く希望する。



大久保繁子 議員

## 令和3年度施政方針について

**答** 第2次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めていく

**問** 昨今行われた行政懇談会の折、自治会の統合が話し合われたが、今後、人口減少に歯止めがかからない中、自治力も低下しているのが現状である。又世相が個人主義、利己主義に向かっている流れの中で、いかにして自治力を高めるのか。

**村長** 人口減少にストップをかけることを命題としてきた。ストップできなかったとしても、それを補うべく自治力を高めていく。そういう姿勢を持って今日までやってきた。しかし昨年からコロナの影響であらゆる会合、懇談の中止が余儀なくされてきた。話し合いができず、意思の疎通ができず、村民には多くの我慢をお願いし、村長としても歯がゆい思いをしてきている。今の時点ではコロナ対策とワクチン接種に全力で取り組んでいく。コロナが終息を迎えたならば、村民との会合、懇談に積極的に出かけ、相互理解のもと、第2次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた施策を進めていく。4本の柱が動けば、村は動き、村づくりはできると自信を持っている。

**意見** 地域の要は家庭にあると思う。その家庭が課題を抱えている。コロナ禍の中でも家庭の持つ課題がクローズアップされた。家庭の重要性に目を向けてもらいたい。人とのコミュニケーションは様々な力を生み出す。木祖村が存続する為にも、村民一人ひとりを大切に、より良いコミュニケーションの場を持って村民参加の村政を期待する。

**問** 藪原町並みの構想であった大鷲屋プロジェクトは中止になったが、町並み、宿場内の空き家対策はどう

いうものか。

**副村長** 大鷲屋プロジェクトは中止になったが、これで暗礁に乗り上げた訳ではなく今後住民を巻き込んだ検討会を立ち上げ、拠点整備を始めどうしていくのかを話し合っていく。

**問** 木曾ペインティングスの着地点はどこにあるのか、又国策として地域おこし協力隊の目的があるかと思うが、それに根ざした協力隊自身の志を村民に周知し、目的達成の為協力体制を作るべきではないのか。

**副村長** 木曾ペインティングスの活動は成果を上げてきている。この活動によって木祖村を訪れた人の中から4名の移住者が存在する。3年間地域おこし協力隊員として活動し、その後木曾アーツを立ち上げた大沢さんは、「木祖村を日曜画家の村から画家の村として格上げし、村の歴史、文化をストーリー化して正しく伝えていきたい。」と話している。

又地域おこし協力隊の活動は多くの人たちの協力を得てきた。活動の様子は広報つばめ通信で周知してきた。しかし十分な周知にはなっていないとすれば更に努力する。協力隊の活動は重要な活動として位置付け、今後も村として支援していく。

**意見** 村民も協力隊の懸命な姿を見てきている。しかし何を行おうとしているのかわからないという村民が存在する。一方的な周知ではなく住民との懇談が理解を生むと思う。そういう場を作って更なる協力体制を作って欲しい。



深澤衿子 議員

## 笑顔溢れる村づくりのための 参画のあり方について

### 答 村としていろいろな場への女性参加を働きかけていく

令和2年のコロナ禍において村としての事業は積極的に取り組んできたが村内の各種事業は中止となり村民に寂しい思いをさせて切ないという話を聞いた。令和3年はその思いから一歩進み、財政は厳しくとも住民に理解される村づくりをお願いしたい。その村づくりに大切な人づくりを男女共同参画の視点で聞きたい。

**問** 男女共同参画における人づくりをどう考えていくか？

**副村長** 男女共同参画の観点からみると地域づくりに女性が増えたという実感はない。村としては地域活性化や福祉施設周辺の利活用などの住民懇談会に参加していただくように働きかける。

**問** 村の採用・職員昇級のバランスは今年度と来年度を比較しどうか。

**副村長** 令和3年は男性2名（受験者は4名）、令和2年は男女2名ずつ採用した。庁内は年齢順もあり役職員に男性が多いのは事実だ。今後は係長以上への登用にも積極的に取り組めればと考える。

**問** 教育面でのバランスはどうか？

**教育長** 小中PTAの場合は母親が中心のだが作業は男女出ている。父親の集まる会も出来たようだ。男だから女だからという問題は子ども達にもPTAにもないと思う。

**問** 地域おこし協力隊の採用とこれからの位置づけをどう考えていくか？（応募・採用が女性が多いが）

**副村長** 令和3年度は3名採用し、  
・1名は男性でこだまの森体験型事業の企画、1名は女性でお六櫛職人として養成。  
・1名はすでに勤めているが女性で観光協会所属である。  
・3年で協力隊の任期は切れるがそのまま木祖村で頑張っていただきたい。

**問** 村の諮問を受ける会議への参画を来年度はどの様に考えていくか？

**副村長** 村としては条例委員はそれぞれの団体の長にあて職として出席願っていることが多い。しかしその団体に女性がいれば出ていただくことはできる。これからは公募に女性が多く参画できるように考えていきたい。

**問** 全体を通してどの様に考えるか？

**村長** 女性の意見は大事であるし男女平等の中地域や団体の中で女性の声を今後も聞いていきたい。コロナ禍で中止となったPTA送別会などでお母さん達の声を聞かれないのは本当に残念である。村としていろいろな場へ女性が参加しやすくなるよう考えていきたい。



栗屋正一 議員

## 木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略について

### 答 段階を踏んで実施していく

**問** 人気の木祖村特産品とうもろこしの需要と供給のバランスをとるための対策を伺う。

**産業振興課長** 令和2年度は、7月の長雨もわざわざいし例年9万5千本～10万本必要なところ6万本しかとれなかった。今後の課題として鳥獣被害対策の強化、そして担い手不足の解消に向けて取り組んでいきたい。

**問** 初沢（中山）の森林整備調査の結果と課題、今後の計画を伺う。

**産業振興課長** 木祖村では、国土調査が済んでいるので、所有者不明の土地はないが所有者の所在が分からない場合がある。森林経営管理法により経営管理集積

計画の同意を自治体主体で行えるようになった。今後、中山を中心に進めていくことを考えている。

**意見** 下流域からの支援をいただくためにも、今後の森林整備計画の策定をしっかりと行い、木祖村の未来に夢がもてる森林にしてほしい。

**問** 交流、移住について、空き家を活用し木祖村に移住を考えたいような体験拠点を考える考えはないか。

**総務課長** 村内の空き家（136件）のうち25件が村への提供を申し出ているので、今後の利用を考えていきたい。コロナ禍でもあり、田舎暮らしやリモートオフィス等の体験をしながら、木曾広域の広域移住交流と村の事業とを合わせて行っていきたい。



田中寛幸 議員

## しらかば平の別荘地や縁結神社等の 総合的な観光地としての今後の村の考え方について

**答** しらかば平別荘地と縁結神社等は  
今後も交流人口の拡大に向け力を入れていく

**問** 別荘地としての今後は、縁結神社を含む観光地の役割、考え方は。

**産業振興課長** 昭和40年代造成で50年余り経過している。別荘所有者が世代交代の時期であるが、後を引き継ぐ人が減少傾向にある。支障木の伐採等をしながらさらなる利用をしていただくよう検討していく。縁結神社も人と人や諸々の縁を結ぶ交流や人口拡大のための一つの拠点としての活用について、今後も観光協会等と連携していきたい。

**問** 新しくできる管理棟の多目的利用や周辺の整備、イベント等は。

**産業振興課長** 新しい管理棟は、参拝者や一般のお客様がトイレ、広間等の利用ができる。しらかば会や縁結神社例大祭のほか、イベントや周辺の整備等も検討していく。

**意見** 縁結神社のお客様にスタンプラリーのようなものを用意して藪原神社、水木沢、笑ん館等に寄ってもらい最後は道の駅で記念品を渡しついでにお土産を買って頂き、村との良い縁を作ってもらおう。デザインは木曾ペインティングスに奇抜なものを考えてもらうなど、縁を大切にしたい試みをやってみたらと考える。



別荘管理棟

## 藪原街中の安全対策について

**答** 今後順次対応していきたい

**問** 藪原街中の安全について、ゾーン30のサインが不鮮明ではないか。

**総務課長** 生活道路における歩行者の安全確保の為に平成26年よりゾーン30の規制を開始した。標識や標示が見にくい等の指摘は行政懇談会からもあり、順次対応する。



消えかかっているゾーン30 (村民センター道路横)

**問** 藪原街中の安全について、通学路の側溝のふた等はどのように考えているか。

**建設水道課長** 6区からの町裏の側溝と思われるが民家と隣接しており老朽化も進んでいる。ふたをすると住民の皆様の理解が必要になると考える。今後検討していきたい。

## コロナの影響で観光地として村民への PCR検査の無料化、補助はできないか

**答** 予防体制と今後ワクチンの接種がポイントとなる

**問** 観光地である木祖村村民のPCR検査について希望者の検査の無料化や補助はできないか。

**村長** 私は、村民の皆様の生命を守ることを最優先に考えている。PCR検査は精度の問題があり必ずしも安心材料にならない。医療機関の体制確保が重要で医療機関がひっ迫したら大変なことになる。村としても予防体制をしっかりやってきたので慎重に判断しているところである。ワクチンの接種ができることがこれからのポイントになるので早く接種できるようにしていきたい。



# 研修会

## 第16回長野県地方自治政策課題研修会

令和3年1月26日(火) 役場2階大会議室

全県下各地の市町村議員を対象とするYouTubeライブ配信による研修会が、自宅や研修会場等を利用して開催され、本村も議長を含めた9名の議員が参加し、研修会が行われました。



### 趣旨・目的

県議会全会派参加で実行委員会の主催により、県議会議員、県内の市町村長、市町村議会議員などを対象に、当面する政策課題について、学識経験者等による講演を行い、今後の対応に資するものです。

講師：ソフトバンク株式会社

ソフトバンク株式会社 法人事業統括 法人プロダクト&事業戦略本部 公共事業推進室 室長 伊藤 寿 (いとう ひさし) 氏

講演内容：DX（デジタルトランスフォーメーション）がもたらす社会生活の変革

県内650人が参加して開かれました。2020年3月27日次世代通信5Gが本格的に展開開始、現在山積している社会の課題を5Gによって企業/自治体との共創をはかる。「地域活性化」や「まちの価値」向上等、コロナ禍で新しい生活様式に変わってきているこれから次世代通信により【何をしたいのか、何を变えていきたいのか ➡ そのために必要なものは何か ➡ どうすればそれを実現できるのか】 Society5.0DX=変革をもたらす研修会でした。

# 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会の報告

2月定例会 令和3年2月15日(月) 深澤 衿子 議員

- 議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
令和3年4月より設置するエリアマネージャーの位置づけを所長・課長及び指導幹と同じに加えるもの。
- 議案第2号 老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例  
令和3年3月31日でジョイフル岡田・聖・やまびこを除く
- 議案第3号4号5号 財産の無償貸し付けについて
  - ・ジョイフル岡田⇒株式会社ツクイホールディングス
  - ・聖⇒麻績村
  - ・やまびこ⇒株式会社長野環境システム  
3年間無償で貸付け
- 議案第6号 令和3年度一般会計予算  
「笑顔あふれるやさしい介護」 歳入歳出それぞれ42億5千万円と定める。
  - ・通所介護部門は事業休止とした。
  - ・施設介護事業の利用率は上昇見込みだが、定員削減のため前年度下回る予算額となる。
  - ・短期入所事業は全体で横ばいとなるが、やはり定員削減により利用者減少で予算額は下回る。
  - ・「組合経営指針2025」の推進
- 議案第7号 令和2年度一般会計補正予算(第2号)  
一般会計予算歳入歳出それぞれ1千万円を追加し総額48億3千万円とする。

## 木曾広域連合議会報告

青木 功 議員

定例会終了後、全員協議会の中で、木祖村としても大きく関係のある文化公園あり方検討委員会の報告を受けました。

木曾文化公園は、これまで木曾の文化・芸術振興、教育の中核として活動してきており、施設の必要性は検討、確認されているところである。しかしながら、築30年を経過している施設設備は老朽化が進んでおり、本来であれば新施設建設を検討すべきであるが、木曾郡内各町村の財政事情、クリーンセンター等の施設更新、木曾寮等の老朽化対応を実施している現状から、施設建設着手は難しい状況にある。

施設建築物としての耐用年数も後30年とされており、その期間、運営の在り方の協議と共に、施設の維持、今後へ繋げる方針として、改修及び施設補修が提案された。

利用者の生命・安全に関わる設備の改修、修繕の最優先事項の中から、早急を実施すべき改修として、舞台機構の老朽化対策工事を令和3・4年にかけて168百万円、ホール天井の耐震対策工事を事前の技術検討を含め令和6・7年にかけて265百万円、非常電源、法令による受電設備の交換工事を令和8年に49百万円、又、早急な実施改修と合わせて客席椅子の更新を令和7年に80百万円の概算見積額が提案された。総額562百万円を財政的負担軽減のため、一括大規模改修するのではなく、必要最低限の対策工事を適時、実施し、財源として社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金等の補助金、交付金の活用の検討も提案された。

今後、耐用年数30年間の維持のため、緊急を要する工事費用とは別に最低限の改修・修繕費用として679百万円程度が必要との試算も報告された。この財源として令和3年から毎年15百万円を20年間(総額3億円)、木曾文化公園設備整備基金の設立が提案された。

# 木祖村議会全員協議会

## ① 自治会組織のあり方について 「今後の進め方」

- ・住民の声や地域の課題に対応できる自治会組織のあり方を行政区ごとに検討
- ・連合自治会において、人口、世帯数減少に伴う諸課題の調整、研究
- ・連合自治会長会各支部と地域自治協議会との課題調整
- ・具体的に検討に入れる行政区の対応を支援
- ・各種団体の活動の見直しや役員選出方法の見直し
- ・集会施設を維持管理している行政区とのヒアリング



## ② 藪原町並みの活性化について

藪原宿の新しい姿を考える提案からまちづくりの方向性をまとめ、宿場内の関係者や一般の村民からなる「藪原宿活性化検討会（仮称）」を立ち上げ、藪原未来プロジェクトの意思を引継ぐ形で検討を進める。（藪原の空き家・旧藤屋旅館・南寿屋・旧米屋旅館・機動隊詰所等）

## ③ 木祖村地球温暖化対策実行計画（案）について

本村ではこれからの温暖化被害を最小限に抑えるべく、令和2年3月中に「木祖村気候非常事態宣言」を行った。この宣言を基に、村及び村民が一体となって温暖化対策に取り組む体制づくりが必要となる。

（計画の基本方針・地球温暖化対策の経緯と取組状況・温室効果ガスの排出状況及び削減目標・目標達成に向けた具体的な取組・実行計画の進捗管理等）

## ④ 新型コロナウイルスワクチン接種について

- \* 接種券の送付 令和3年4月12日（予定）
- \* 高齢者への接種期間 5月～7月
  - ・ 5月9日(日)、20日(休)、27日(休)、30日(日)
  - ・ 6月10日(休)、17日(休)、20日(日)
- \* 予約期間 4月19日～4月30日
- \* 最大接種人数 540人（1,080回分）

## ⑤ スキー場関係について

- \* 今年中には方向性を出していきたい。そのために藪原、小木曾、菅の地区ごとスキー場に特化した懇談会を開催する。
- \* 懇談会の前に、入込みの動向や運営会社の経営状況、継続する場合や廃止する場合の影響など資料を示し、アンケート調査を行う。そのアンケートの結果を踏まえ、住民懇談会やあり方検討会で議論していきたい。

## ⑥ 木祖村森林経営管理制度実施方針について

【趣旨】 木祖村に存する森林について、森林管理が円滑に行われるよう木祖村が森林経営管理法に基づく措置その他必要な措置を講ずるための方針を示すものである。

- \* 森林整備・森林振興の基本的な考え方
- \* 森林所有者意向調査について
- \* 意向確認後の森林経営管理の方針
- \* 森林経営管理制度の実施コストについて
- \* その他（随時見直し、各地区のバランス反映、森林簿及び森林台帳の精度向上等）

## ⑦ 国道19号藪原改良の概要と村有地用地売買について

飯田国道事務所よりの説明。国道19号改良事業で関係する土地買収の件、村有地売買に関する件、これからの計画概要等を説明していただき、まだ詳細設計の段階なので、随時事業のため地籍調査・測量・予備設計・工事説明を進める予定としている。





# 元気発見! むらびと大図鑑

木祖村手話サークルの紹介 人と人をつなぐ 代表者 柳川 悦子さん



サークルを始めて17年。毎週1回開いてきました。基本の手話をゆっくりと、楽しく学んでいます。  
毎週火曜日 1:30~3:00 保健センターでやっています。一緒にやってみたい人は、社協へご連絡を。

上の写真の手の形は、手話を広めようという運動のシンボルマークで、「アイ・ラブ・ユー マーク」といいます。



聞こえが悪くなった人は、一生懸命相手の口を見て聞き取ろうとします。だから私たちはサークルの時には透明マスクを着けて話します。

耳の不自由な人は、災害の時放送が聞こえません。避難所へ行っても案内が聞こえません。近くで声をかけてあげてください。



聴覚に障害があっても車の免許はとれます。これは、聴覚障害者が運転する時に車に付けるマークです。見かけたら配慮をお願いします。

手話ができなくても、耳の不自由な人に対して、文字でもジェスチャーでも話せます。



## 編集後記

まだ取まらぬコロナ感染症の状況の中、雪も解け春を迎えました。環境や生活習慣が変わりましたが、いつどんな時でも人々は進歩しながら変化に対応してきています。

今後もコロナ禍による第4波が現われそうな気配です。村の経済にも打撃があり、人の動きも「まばら」となっていますが、そんな中で2月には行政懇談会が開催されました。今後の村のあり方について住民から貴重なご意見を頂戴いたしました。これを機に人口減少に伴う様々な課題に対し、村民のご意見を活かせる議会として活動してまいりたいと思います。

木祖村議会報編集委員会 委員長 鈴木正弘 委員 安原千佳世 田中寛幸 大久保繁子